

## スポーツ文化・産業委員会委員長報告

スポーツ文化・産業委員会における審査の経過並びに結果についてご報告いたします。

本委員会に付託されました案件は、甲第241号議案  
令和7年度岡山市一般会計補正予算（第6号）についてであります。

これらの審査に当たりましては、当局の説明を聴取し、慎重に審査いたしました結果、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、審査の過程におきまして、甲第241号議案  
令和7年度岡山市一般会計補正予算（第6号）についてのうち、物価高騰の影響を受ける市内中小・小規模事業者の事業用の設備・機器を省人化・省力化するために必要な経費の一部を助成しようとする省人化・省力化設備投資支援事業について、委員から、対象となる設備について具体的なものは何かとの質問があり、当局から、人の目で検査していたものをAIで行うこと、また、テイクアウトの際の袋詰めやラベル貼りを自動で行う機器、溶接用のロボットなどが対象となる、との答弁がありました。

また、別の委員から、「省エネ機器更新緊急支援事業」と、「省人化・省力化設備投資支援事業」のスケジュール

について質問があり、当局から、スケジュールは未定だが、できるだけ年度内に申請を受け付けできるようにしたいとの答弁がありました。

次に、同議案のうち、地球温暖化に伴う夏季の高温による農作物の収量減少や品質低下を受けている園芸農家を支援するため、高温対策機器の導入を補助する「園芸作物高温対策事業」について、委員から、どのような機器が対象となるのかとの質問があり、当局から、スプリンクラーやハウス内の換気扇、灌水装置等が対象になると想定しているとの答弁がありました。

また別の委員から、「施設園芸燃油費高騰対策事業」及び「園芸作物高温対策事業」のスケジュールについて質問があり、当局から、「施設園芸燃油費高騰対策事業」は、令和7年10月から令和8年6月までの実績を対象とし、受付は令和8年7月からを想定しており、「園芸作物高温対策事業」については、令和7年4月から申請の受付を想定しているとの答弁がありました。

以上で、スポーツ文化・産業委員会の報告を終わらせていただきます。